

## 平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

### 1 施設名

横浜市若葉台地域ケアプラザ

### 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

#### 地域の現状と課題について

若葉台地域の高齢化率は43パーセントを越えている。高齢化に対する地域の住民の意識は高く、昨年24時間見守り事業として、地域交流拠点「ひまわり」が開所した。自治会やかがやきクラブ（老人会）では、サロンやクラブ活動が盛んで、地域資源は充実している。しかし、地域とのつながりが無く、孤立しているケースもある。自治会で民生委員や友愛活動などと連携して、向こう三軒両隣の見守り体制を強化する工夫をしているが、SOSを発することが出来ない高齢者を把握することが課題になっている。また、そういった見守りを担うボランティアの高齢化も進み、新たな担い手を育てる必要性もある。地域交流拠点「ひまわり」を始め、住民の活動が活発な地域ではあるが、地域資源となるそれぞれの活動が更に円滑で充実したものとなるよう、ニーズを把握し支援していけるよう、地区社協、NPO 若葉台など地域の活動団体との意見交換や情報の共有の機会を増やし、協力体制を強化したい。

団地特有の問題として、階段昇降の問題が大きい。管理組合が中心になって、昇降機の必要性についても検討されているが、解決すべき課題が多い。

子育てにおいては、少子化が進んではいるが「親と子の交流の場そらまめ」が中央の商店街にできたことで、母親同士の交流が増えて、母の会や子育てサークルが複数立ち上がっている。子育て世代の転入を増やしたいと、まちづくりセンターが働きかけているが、今後も継続していく必要がある。

#### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

経年劣化による故障や修繕箇所が多い。計画的に小破修繕に努める。  
リスク管理による、安全な施設運営に努める。  
12条点検や定期点検、定期清掃など、こまめなメンテナンスを実施する。

#### イ 効率的な運営への取組について

これまでと同様に、グリーンカーテンや節電機器により、消費電力の軽減に努める。  
節電警報機を使用して、使用する電気量を抑えるよう努めている。  
夏のクールシェアを実施している。  
地区センターやコミュニティハウスと情報交換して、事業対象者の重複を把握し、できるだけ幅広い世代や、ニーズの多い世代に対する事業を企画する。  
各事業を見直し、地域のニーズに適した提案ができるように取り組む。

#### ウ 苦情受付体制について

ご意見箱の設置やアンケートの実施により、施設利用について幅広く意見を収集する。  
重要事項説明書により、苦情申し立て窓口を周知する。  
苦情を受けた際には、速やかに適切な対応ができるように、職員の教育を徹底する。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防火・防災計画を基に緊急時の対応について、定期会議を開催する。  
災害時のマニュアルを見直し、職員が確実に対応できるように訓練を実施する。  
特別避難場所としての役割を、地域住民に周知してもらえるように広報する。

オ 事故防止への取組について

施設内の危険個所を把握して、事故を予防できるように改善していく。  
介護業務に於いては、全体会議、ひやりはっとやインシデントを活用して、職員間での共有に努める。  
交通事故を防止する為、車両のメンテナンスとドライバーの安全運転教育に努める。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

知り得た個人情報は、外部に流出しないように適切に扱う。  
ファイルやUSBは、訪問以外は外への持ち出しを禁じ、施錠して管理する。  
郵送やFAXを送る際は、ダブルチェックを基本として、誤送付や誤送信を予防する。

キ 情報公開への取組について

法人のホームページで情報を公開している。  
年4回、ケアプラザの広報紙を全戸配布する。  
第三者評価を活用する。

ク 環境等への配慮及び取組について

エコキャップのリサイクルや、資源ごみのリサイクルに取り組む。  
ゴーヤのグリーンカーテンを設置して、夏の電気使用量を削減する。  
敷地内の伐採した樹木を乾燥させて処分する。  
電気量警報機を設置して、施設内の節電に努める。

# 介護保険事業

## ● 介護予防支援事業

### 《職員体制》

保健師（管理者兼務）・・・・・・・・・・1名  
社会福祉士・・・・・・・・・・2名  
主任介護支援専門員・・・・・・・・・・1名

### 《目標》

地域の方々が住み慣れた街で、安心して暮らすことができるように、支援を必要とする方の把握と、それぞれの個性を大切にしながら、介護予防事業や総合事業に繋ぐなど、日常生活機能の維持向上を目指した支援をする。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●事業参加者の実費費用

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域のニーズに合った体操教室や口腔ケアや音楽療法など、様々な視点で企画した事業を行っている。

### 《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	95	95	95	95	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98	98	98	98	98	98

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務）・・・・・・・・・・ 1名  
 主任介護支援専門員（常勤・兼務）・・・・・・・・・・ 1名  
 介護支援専門員（常勤・専任）・・・・・・・・・・ 3名  
 介護支援専門員（非常勤・専任）・・・・・・・・・・ 1名

《目標》

支援を必要とする方々が、できるだけ長く住み慣れた街で安心して暮らせるように、地域包括支援センターと連携を図り、切れ目のないケアマネジメントに努める。  
 制度改正内容を理解して、法令順守に努める。  
 定期研修を実施して、介護支援専門員のスキルアップに努める。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

携帯電話での24時間相談体制をとっている。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
168	168	168	170	170	170
10月	11月	12月	1月	2月	3月
172	172	172	172	172	172

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 機能訓練・レクリエーション
- 入浴
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割～2割負担

● 月～土曜日/7～9時間(1割負担分を記載)

(要介護1)	703 円
(要介護2)	831 円
(要介護3)	963 円
(要介護4)	1095 円
(要介護5)	1226 円

● 日曜日/3～5時間(1割負担分を記載)

(要介護1)	407 円
(要介護2)	467 円
(要介護3)	528 円
(要介護4)	587 円
(要介護5)	649 円

● 食費負担(1利用)	720 円	● 入浴	54 円
● 機能訓練加算	60 円	● 認知症加算	65 円
● サービス提供加算	20 円	● 処遇改善加算	11 円～30 円
● フラワーアレンジメント	600 円	● 小物作り材料費	100 円～300 円

《事業実施日数》 週 7 日 (12月29日～1月3日を除く)

《提供時間》 9:15 ～ 16:15 (月曜日～土曜日)  
9:45 ～ 13:00 (日曜日)

《職員体制》

管理者(常勤) . . . . . 1名	理学療法士(非常勤) . . . . . 1名
相談員(常勤・非常勤) . . . . . 3名	運転士(非常勤) . . . . . 7名
介護職員(常勤) . . . . . 2名	調理員(非常勤) . . . . . 5名
介護職員(非常勤) . . . . . 16名	事務員(非常勤) . . . . . 1名
看護師(非常勤) . . . . . 8名	

《目標》

ご利用者様に楽しみにして頂ける魅力ある通所サービスと、ご家族に安心していただける信頼される施設を目指す。機能訓練やレクリエーションによりご利用者様の機能維持向上を目指す。

《その他(特徴的な取組、PR等)》

緑に囲まれた明るい雰囲気、手作りの美味しい食事と、ゆったりとしたお風呂とスタッフの笑顔のある楽しいデイサービス。

《利用者目標(延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
730	730	700	720	700	720
10月	11月	12月	1月	2月	3月
720	720	700	700	700	700

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 食事
- 機能訓練・レクリエーション
- 入浴
- 送迎

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1割から2割負担

- 月曜日～日曜日(送迎・入浴含む1割負担を記載) \* 日曜日は短時間  
 (事業対象者及び要支援 1/週 1 回程度) 1,766 円  
 (要支援 2/週 1 回程度) 1,766 円  
 (事業対象者及び要支援 2/週 2 回程度) 3,620 円
- 食費負担 720 円
- 運動器機能向上加算 241 円
- サービス提供加算 I  
 (事業対象者及び要支援 1/週 1 回程度) 77 円  
 (事業対象者及び要支援 2/週 1 回程度) 77 円  
 (事業対象者及び要支援 2/週 2 回程度) 154 円
- 処遇改善加算  
 (事業対象者及び要支援 1/週 1 回程度) 46 円  
 (要支援 2/週 1 回程度) 46 円  
 (事業対象者及び要支援 2/週 2 回程度) 88 円
- フラワーアレンジメント 600 円
- 小物作り材料費 100 円～300 円

《事業実施日数》 週 7 日 (12 月 29 日～1 月 3 日を除く)

《提供時間》 (月～土曜日) 9 : 15 ～ 16 : 15(7～9 時間)  
 (日曜日) 9 : 45 ～ 13 : 30 (3～5 時間)

《職員体制》

通所介護事業と兼務

《目標》

安全な介護とサービスの質の向上に努める。  
 機能訓練で上肢や手指の訓練や脳トレ、転倒予防体操などを実施して、生活機能の向上に努める。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

緑に囲まれた明るい雰囲気、手作りの美味しい食事と、ゆったりとしたお風呂とスタッフの笑顔のある楽しいデイサービス。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
35	35	35	35	35	35
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
40	40	35	35	35	35



以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

高齢者：益々高まる高齢化に向けて、これまでのように自治会や老人会の集会などに訪問する以外に、昨年から取り組んでいるコミュニティーハウスでの出張相談会などを継続して相談の窓口を広げている。専門職のアセスメントにより必要な支援に繋げるよう関係機関と連携を図る。

生活支援コーディネーターを配置して、地域資源の充実に取り組み、高齢者の居場所や生きがいとなる活動を増やす。

こども：子育てささえ合い連絡会が行う子育てサロンやプレイパーク、親と子のつどいの広場「そらまめ」、地域の子育てサークルの活動支援をしている。地区センターなど関係機関と情報交換をする。

障がい児者：地域の障がい児者団体の活動支援のほか、わかば学園や星槎学園の就労体験やインターンシップの受け入れをしている。精神障がい者サロンもぐもぐの開催をする。

その他：ひきこもり問題について、ユースプラザの事業に協力する。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

新たに配置された生活支援コーディネーターと協働する。地域活動交流、地域包括支援センターのそれぞれの会議や合同会議に出席して、情報共有や意見交換を定期的に行う。

地域包括支援センターで相談を受けた問題や、地域ケア会議で抽出した課題に向けた、高齢者の居場所や見守り体制の構築に必要な事業やボランティア育成に取り組み、更なる地域資源の充実を目指す。

### 3 職員体制・育成

地域包括支援センターの三職種は4人体制になった。

生活支援コーディネーターが新たに配置され、地域活動交流コーディネーターや地域包括支援センターと協力していく。

居宅介護支援事業は特定加算Ⅱの事業所として適切な運営に努める。

行政が開催する研修以外にも、適宜スキルアップに必要な研修を受講していく。

ケアプラザ内でも、事例検討など内部研修を実施する。

#### 4 地域福祉のネットワーク構築

地域の会議や行事に出席して、行政、連合自治会、地区社協など地域の活動団体、まちづくりセンター、教育機関など地域の関係機関とのネットワークの強化に努める。これまでと同様に自治会やかがやきクラブ(老人会)の集会に訪問して、顔の見える関係づくりを引き続き行っていく。ケアプラザの役割を周知してもらい、地域の情報をより収集できるようにする。  
認知症サポーター養成講座を広め、地域の見守りのネットワークの強化に取り組む。

#### 5 区行政との協働

- ・第3期地域福祉保健計画に沿って、区役所・地区社協と支援をする。
- ・高齢障害に於いては、区役所と情報を共有して、速やかに支援に繋がられるようにする。
- ・アルツハイマーデーのキャンペーン活動や子育て相談など、行政の事業に協力する。
- ・精神障がい者サロン「もぐもぐ」の開催を、区役所・地区社協・ほっとぽっとと協力して継続する。

### 地域活動交流部門

#### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

従来からある連合自治会、地区社協、かがやきクラブなどが開催している茶話会や会合に参加したり、NPO 若葉台が行う「地区ボランティアセンター」「ひまわり」「ふれあいにし」等に訪問したりし、情報収集・交換を行い、つながりや連携を図っていく。

それ以外に民生委員児童委員協議会とは従来通り情報交換を行ったりし、その他地域団体とも状況に応じた支援・連携を行なうことで、つながりを持っていく。

地域に向けて、四半期に一度発行の「ケアプラザだより」を全戸配布すると同時に、電子媒体としてホームページを活用し、情報を相互利用できるようにしていく。

また、地域広報紙「みんなの若葉台」「わかば通信」「社協だより」「タウンニュース」等の媒体を活用する。

毎年4・10月に横浜市ポータルサイトで発表されるデータを活用して、各自治会に地域の人口動向をデータ化したものを、引き続き提供していく。

## 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

日中は高齢・子育て・障がいの各登録団体や民生委員児童委員協議会等の定例会、保健活動推進員主催まちぐるみ健康教室の講座や体力測定、かがやきクラブの料理教室等、夜間は連合自治会や地区社協、子育てさえあい連絡会の定例会に活用して頂いており、引き続き活動場所として提供していく。

毎週木曜日と第4日曜日は配食グループが利用し、地域の高齢者等に活用して頂いており、当ケアプラザの食事サロン等でも活用させていただいている。

その他C団体の活動内容を精査し、福祉保健活動（A・B団体）に移行出来るように働きかけを行なっていく。

## 3 自主企画事業

地域全体が高齢化してきており、地域包括支援センターと協働して高齢者については現状維持でき自宅に引き籠らないよう、通年の体操教室や月1回のコンサート、趣味講座等のイベントを織り交ぜて、外に出るきっかけづくりを行なう。

子育て支援では、子育てさえあい連絡会と協働して、サロンやプレイパーク等の開催支援を引き続き行なっていくと同時に、サロンの再編（子育てサロンから多世代交流サロンへの移行）など、地域の方と協働してまちづくりを行なっていく。

障がい者支援として、引き続き精神障がい者を対象としたサロン「もぐもぐ」と、若葉台特別支援学校B部門との共催事業（パン販売）を開催したり、地区文化祭内で開催している「障がい者理解フェスティバル」の後方支援も継続していく。

## 4 ボランティアの育成及びコーディネート

ジュニアボランティアを中心に若い世代に向けてボランティア基礎講座や高齢者疑似体験、車いす操作法等を実施し、これからの担い手として育成していく。

当ケアプラザではよこはまシニアボランティアポイントで活動している方が多くいる一方、高齢化率が増加している事に伴い、元気高齢者向けに生きがいづくり等含めた活躍の場としてボランティアを積極的に活用し、介護予防を含めた支援を行っていく。また、それぞれの団体の活動紹介や発表の場、意見交換の機会として「ボランティアの集い」を開催する。

毎年秋に行なう福祉フェアにおいてボランティアの活用を図り、直接支援だけでは無いボランティアを身近に感じて頂ける環境づくりをし、発表の場・活躍の場として提供をしていく。

## 地域包括支援センター

### 1 総合相談・支援

#### 総合相談

- ・高齢者の身近な相談窓口として様々な相談を受け止め、相談内容から課題を把握する。(必要があれば、こちらから訪問をして状況確認に努める。1丁目などケアプラザが遠いところへの出張相談会等の開催を継続する。)
- ・相談内容に応じて適切な情報を提供し、関係機関や制度・事業等につなげていく。(地域内のネットワークの活用も大切にする。)
- ・必要と思われるケースは継続的にフォローしていく。

#### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・地域包括支援ネットワークの構築のため、一つ一つの事例を通しながら各関係団体と顔の見える関係づくりを行い、連携を深めていく。
- ・地域包括支援センターへの理解が深まる様地域の会合等の出席や関係機関等への訪問で周知を行う。
- ・地域包括ケアシステムの構築のための基盤となるネットワークを目指す。

#### 実態把握

- ・地域内の高齢者の実態把握に努める。(各種統計資料、相談や関係機関からの情報、事業後のアンケート等からの収集)
- ・積極的に地域の活動や催しものに参加し、情報を得る。
- ・高齢者の個別ニーズや地域のニーズ、インフォーマルサービスの情報整理を生活支援コーディネーターと協力して行う。

### 2 権利擁護

#### 権利擁護

- ・成年後見制度の普及啓発のための講演会を行う。
- ・申し立てを考えている人に手続等アドバイスを行う。
- ・成年後見制度、日常生活自立支援事業(あんしんセンター)の活用が必要と思われる人を判断し、関係機関につなぐ。
- ・消費者被害の防止の為にPRを行う。(かがやき(老人)クラブの定期訪問時に最新の情報を伝えるなど繰り返し行う。)
- ・高齢者と接する機会が多い関係者に消費者被害のための情報を提供する。
- ・相談を受け、必要であれば消費者生活センター等に繋ぎ、解決支援を行う。

### 高齢者虐待

- ・ 民生委員、ケアマネジャー、介護保険事業者等と日頃から情報交換を密にし、虐待事例の早期発見に努める。(旭区版高齢者虐待対応フロー図の利用等)
- ・ 必要時には緊急性を見極め区との連携をはかり、高齢者虐待防止法に基づいた対応をする。
- ・ 虐待防止と早期発見につながるような視点を持ってもらえるよう、民生委員に周知する。
- ・ 介護者の会等、介護者の負担を軽減できるような場を設け、SOSが出しやすいような関係づくりを行う。

### 認知症

- ・ 認知症の正しい理解のために普及啓発を行う。(認知症サポーター養成講座、講演会、かがやき(老人)クラブの定期訪問での講話)
- ・ 「旭区もの忘れ相談シート」を活用して、かかりつけ医への相談がしやすくなるよう支援する。
- ・ 認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるようにネットワークの構築に努める。
- ・ 必要な人に旭区徘徊 SOS ネットワークの登録を勧める。

## 3 介護予防ケアマネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- ・ 要支援者等の主体性・意欲を引き出し、「自分らしさを維持しつつ、目的を持って生活できるよう」介護予防マネジメントを行っていく。
- ・ 委託を行う場合は、ケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントができるよう支援する。
- ・ 介護予防ケアマネジメントに関する研修を行い、マネジメント力を高める。

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

##### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・各かがやき(老人)クラブの定例会、茶話会等に参加し、地域住民に地域包括支援センターの活動、介護保険制度やサービス等を周知する。
- ・若葉台地域の社会資源の調査・把握を生活支援コーディネーターと実施し、情報収集に努める。
- ・民生委員・友愛活動員等との定期的な情報交換を実施する。
- ・「地域ケア会議」「ケアマネジャー連絡会」等を活用して、ケアマネジャーと民生委員、ボランティア団体等の情報交換の機会を作る。

##### 医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等の情報交換の場を作る。
- ・「旭区もの忘れ相談シート」の活用を進める。
- ・地区内の医療機関（医師・医療相談員等）を訪問し、関係づくりを図る。

##### ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーからの相談にいつでも対応できる体制を整え、適切な支援を行う。
- ・サービス担当者会議の開催支援を行う。
- ・ケアマネジャー向けの研修会、事例検討会、ケアマネジャー同士の交流会や多職種の交流会等を近隣地域包括支援センターと共催で行う。
- ・新任就労予定のケアマネジャーに対する研修会等を区内全地域包括支援センターで実施する。
- ・旭ケアマネットの支援を行う。

### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・「地域ケア会議」の開催を通して、多職種や地域の支援者が集まり、それぞれ意見を出し合うことで、個別課題の解決から地域課題の把握へと地域包括支援ネットワークの構築を目指していく。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

- ・地域内の高齢者の状態を把握して、介護予防のきっかけになるような情報提供と活動への参加を促していく。
- ・ロコモ予防講座、男性向けロコモ予防体操、「ゆっくりノルディック」等のプログラムを実施し、地域高齢者の筋力、体力の維持強化に努める。
- ・口腔ケア、栄養、認知症予防（コグニサイズ・音楽療法）についての講座を開催し、介護予防の具体的な考え方、工夫を学ぶ機会作る。
- ・認知症予防の自主活動グループ（エンジョイわくわくツッキング）の後方支援を継続する。
- ・かがやき（老人）クラブの定例会、茶話会等の訪問時、介護予防のミニプログラムを提供する。
- ・自主活動グループが活動を継続できるよう後方支援を継続する。

## 生活支援体制整備事業

### ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- ・かがやき（老人）クラブや自治会、地区社協など地域の活動団体、事業所等にできるだけ訪問し、顔の見える関係づくりと情報収集を行う。
- ・地域包括支援センターと連携し、介護予防活動場所の把握や個別相談内容の把握・傾向の分析を行う。また地域ケア会議等での地域課題を共有する。
- ・地域活動交流と連携し、ケアプラザでの自主事業や登録団体についての情報を把握する。
- ・区役所、区社協と連携を取りながら、より多くの情報（近隣地域の情報も含む）を収集する。
- ・把握できた情報をもとに資源情報リストの作成を進める。

#### 圏域レベルの協議体の設置・開催

- ・地域の各団体が取り組んでいる活動内容や課題を共有し、連携を深める場となるような協議体を目指す。
- ・これまでの地域活動支援を活かすために、地域ケア会議や運営協議会などの活用も含め、開催方法を検討する。

#### 圏域レベルの目標・取組事項の設定

- ・協議体とともに生活支援や居場所・社会につながる機会等の充実を検討する。また2025年に向けて住民の構成や地域の活動団体の変化など考えられる地域の姿を考慮しながら、短期・長期のそれぞれの視点で目標・取組事項の設定を目指す。
- ・区レベルの目標・取組事項を踏まえ、地域福祉保健計画等も参考にする。

#### 具体的な取組事項への着手

- ・協議体と介護予防や生活支援に関わる現状・課題を確認し、できる取組から順次着手していく。区役所、区社協と連携しながら取組を進めていく。
- ・地域活動交流、地域包括支援センターと連携しながら、既存団体の活動の充実、新たな人材の発掘に努める。

#### その他

--



## 平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名：横浜市若葉台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			生活支援体制整備	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	13,734	28,809	151	0	5,789			
	介護保険収入	0	0	0	3,000	0	34,000	72,000	210
	その他	650	0	0	0	0	1,302	7,080	17
	利用者負担金	650	0	0	0	0	0	7,000	17
	その他収益	0	0	0	0	0	62	80	0
	認定調査	0	0	0	0	0	1,240	0	0
<b>収入合計(A)</b>		<b>14,384</b>	<b>28,809</b>	<b>151</b>	<b>3,000</b>	<b>5,789</b>	<b>35,302</b>	<b>79,080</b>	<b>227</b>
支出	人件費	9,200	20,000	0	0	4,500	22,300	62,200	0
	事務費	640	360	0	0		2,530	4,420	0
	事業費	1,338	859	151	0		2,800	12,350	0
	管理費	5,510	1,463	0	0		0	0	0
	その他	2,237	711	0	2,700	309	0	798	0
	協力医謝金	0	630	0	0	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	2,700	0	0	0	0
	減価償却	819	81	0	0	0	0	88	0
	利用者負担軽減	0	0	0	0	0	0	110	0
	消費税	776	0	0	0	0	0	0	0
	修繕費	600	0	0	0	0	0	600	0
	生活支援体制整備	0	0	0	0	309	0	0	0
	運営協議会費	42	0	0	0	0	0	0	0
<b>支出合計(B)</b>		<b>18,925</b>	<b>24,023</b>	<b>151</b>	<b>2,700</b>	<b>4,809</b>	<b>27,630</b>	<b>79,768</b>	<b>0</b>
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>▲ 4,541</b>	<b>4,786</b>	<b>0</b>	<b>300</b>	<b>980</b>	<b>7,672</b>	<b>▲ 688</b>	<b>227</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

## 平成28年度 自主事業計画書

### 横浜市若葉台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ゆるやか体操	地域在住の75歳以上の方でご自分で通える方を対象とした介護予防、仲間づくり、引きこもり防止を目的とした、椅子で座って出来る健康体操と茶話会	毎月第1～5月曜日 10:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	地域在住の75歳以上の方でご自分で通える方を対象とした介護予防、仲間づくり、引きこもり防止を目的とした、椅子で座って出来る健康体操	毎月第1～5月曜日 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
精神障害者サロン『もぐもぐ』	心の病を持った方を対象とした居場所づくり	毎月第1火曜日 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なかよし親子体操	2～3歳程度の子どもとその保護者を対象とした、親子のふれあい、子供同士のふれあいを目的としたリトミック体操室	毎月第2火曜日 10:30～11:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イザナギTARO コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回(4月) 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食事サロン 四季彩	75歳以上の単身者、高齢夫婦などを対象とした食事会。ボランティアさんによるレクリエーションなども開催。	毎月第4木曜日 11:30～13:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくり ノルディック	ポールを持っているが、なかなか歩く機会が持てない方、ゆっくりとしたペースで、ゆっくりノルディックウォーキングを楽しみたいという方、ノルディックウォーキングを始めたい方向けの講座	毎月第1金曜日 14:00～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜国大吹奏楽団 コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回(5月) 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌と落語の会	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回(6月) 13:30～15:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
童謡コンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（7月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クールシェア	暑さの厳しい時期に冷房の効いた多目的ホールを開放して、地域の方に利用して頂いたり、ミニコンサートを開くと同時に、地域ボランティアを活用して食事の提供を行なう。	年1回（8月） 10:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉コーラスコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（9月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェア	ケアプラザの周知 福祉保健活動の啓発 ボランティアの活動の場の提供	年1回（10月） 11:00～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジャズピアノコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（11月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（12月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春演歌ショー	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（12月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マンドリンコンサート	地域住民に向けての交流事業・高齢者の閉じこもり防止事業、余暇支援	年1回（12月） 13:30～14:30

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	日頃ケアプラザで活動しているボランティアさん達の慰労と情報交換	年1回 11:00～13:00

**\* 行が足りない場合は、行を挿入して記載してください。**

**\* 事業ごとに別シートや別ファイルにする必要はありません。すべてこのシートに記載してください。（今年度変更点）**

横浜市若葉台地域ケアプラザ 平成28年度自主事業収支計画書

(単位:円)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ゆるやか体操	高齢者	350,000	50,000	300,000	200,000	150,000	0
	25						
	300						
らくらく体操	高齢者	200,000	0	200,000	200,000	0	0
	25						
	200						
精神障がい者サロン『もぐもぐ』	精神障害者	30,000	10,000	20,000	0	30,000	0
	10						
	200						
なかよし親子体操	未就学児と保護者	120,000	37,500	82,500	110,000	10,000	0
	15						
	500						
イザナギTAROコンサート	地域住民	7,500	7,500	0	5,000	2,500	0
	100						
	0						
食事サロン四季彩	高齢者	70,000	10,000	60,000	0	70,000	0
	15						
	400						
ゆっくりノルディック	高齢者	78,800	78,800	0	30,000	43,200	5,600
	10						
	0						
横浜国大吹奏楽団コンサート	地域住民	10,000	10,000	0	3,000	7,000	0
	100						
	0						
歌と落語の会	地域住民	21,000	21,000	0	20,000	1,000	0
	100						
	0						
童謡コンサート	地域住民	25,000	25,000	0	20,000	5,000	0
	100						
	0						
クールシェア	地域住民	25,000	15,000	10,000	5,000	20,000	0
	100						
	100						
若葉コーラスコンサート	地域住民	8,000	8,000	0	5,000	3,000	0
	100						
	0						
福祉フェア	地域住民	150,000	70,000	80,000	0	150,000	0
	100						
	100～200						
ジャズピアノコンサート	地域住民	8,000	8,000	0	5,000	3,000	0
	100						
	0						

横浜市若葉台地域ケアプラザ 平成28年度自主事業収支計画書

(単位:円)

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
クリスマスコンサート	地域住民	8,000	8,000	0	5,000	3,000	0
	100						
	0						
新春演歌ショー	地域住民	8,000	8,000	0	5,000	3,000	0
	100						
	0						
マンドリンコンサート	地域住民	8,000	8,000	0	5,000	3,000	0
	100						
	0						
ボランティアの集い	活動ボランティア	100,000	100,000	0	0	100,000	0
	40						
	0						

\* 行が足りない場合は、行を挿入して記載してください。

\* 事業ごとに別シートや別ファイルにする必要はありません。すべてこのシートに記載してください。(今年度変更点)